

高校生の私がボランティアを始めて

吉田 麻莉

私は高校2年生の時に中央図書館の職員さんに勧められてL.V.S.の読み聞かせボランティアを始めました。

最初は体験という形で読み聞かせをさせてもらいました。

当時は学業とボランティアの両立ができるかということがとても不安でした。しかし、今は月に1回ということや他のボランティアさんの協力もあって、無理せず楽しくボランティアができています。

ボランティアをやることで、自分が地域に貢献できているという達成感や大好きな子どもたちとたくさん触れ合えたことなど、たくさんいいことがありました。



私は総合型入試という形で大学に合格したのですが、その時も面接や志望理由書などで、ボランティアでの経験談などを話し、大きなアピールポイントとなりました。今、私と同年代のひとはあまりボランティアをする勇氣だったり時間だったりがないかと思います。ただ、ボランティアをすることによって得られることはたくさんあります。自分の無理ないペースで社会に貢献できます。

少しでも興味があったら、見学だけでもしてほしいと思います。現役高校生だった私も、このボランティアを始めてよかったとおもっています。

イラスト：世奈

転載，二次使用，AI 学習を禁じます。